

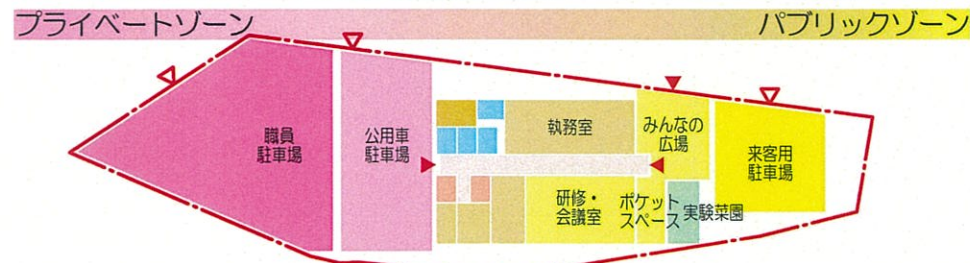
Gradation - 県中農林事務所須賀川農業普及所 -

- A. 地域住民と協働で活用する「みんなの広場」・「ポケットスペース」・「実験菜園」の大小の広場を持ち、より農業を身近に感じ、周辺環境に馴染んだ、地域と共生する農業普及所を提案します。
- B. 多様なグラデーションが織りなす空間構成により地域と緩やかに繋がる農業普及所を提案します。
- C. 人口が減少し税収が減ってきている現状を考慮し、省エネと創エネによるZEB化、機器等の更新性によるライフサイクルコストの低減を実現します。

1 周辺地域と共生する施設の在り方に関する提案

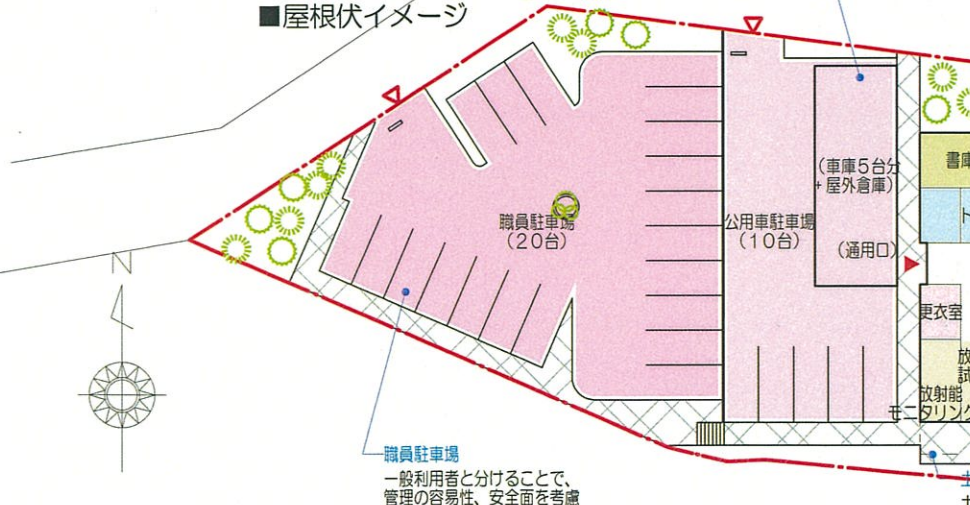
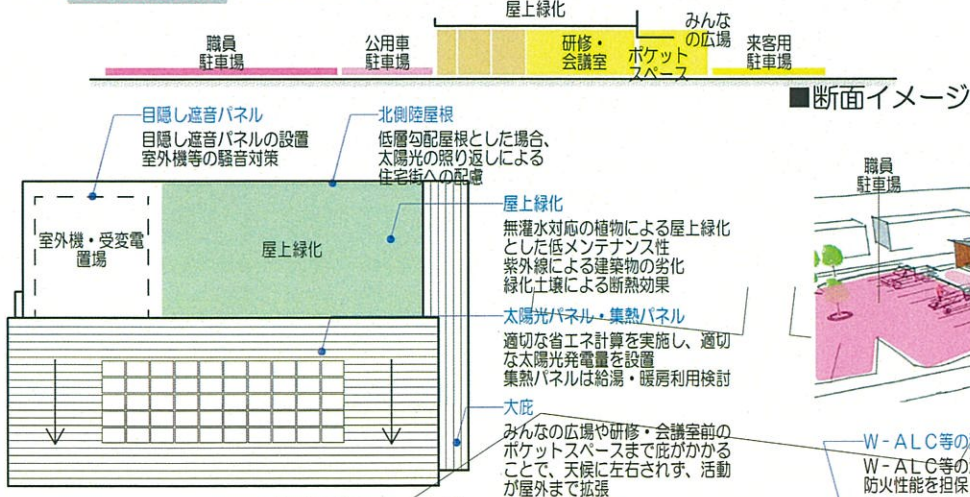
■明確なゾーニング・シンプルなボリュームによるグラデーション

敷地西側高台に職員駐車場を配置し、東側に向かうに従って、公用車駐車場、本施設、「みんなの広場」、来客用駐車場を配置することで、施設職員が利用するプライベートゾーンから一般利用者が利用するパブリックゾーンへと緩やかに繋がります。明確なゾーニング、施設をシンプルに形成することで一般利用者にもわかりやすく気軽に立ち寄れる空間を目指します。北側部分は高さを抑え、陸屋根による太陽光の照返しを減らし、周辺環境に配慮した計画とします。また、シンプルな構成とすることで、構造的安定性やインシタルコストを縮減します。



■内部空間と外部空間のグラデーション

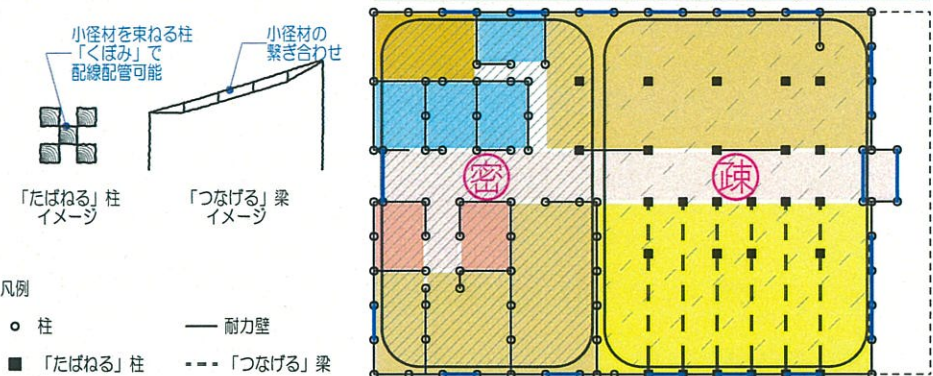
建物東面には木造のキャンチレバーによる大庇を形成します。庇下部の「ポケットスペース」は半屋外空間となり、雨天時やファーマーズマーケット開催時などに活用可能です。また、執務室の来客対応ゾーンや研修・会議室と併設することで、内外の連続性が生まれ、活動が広がります。



2 次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保に関する提案

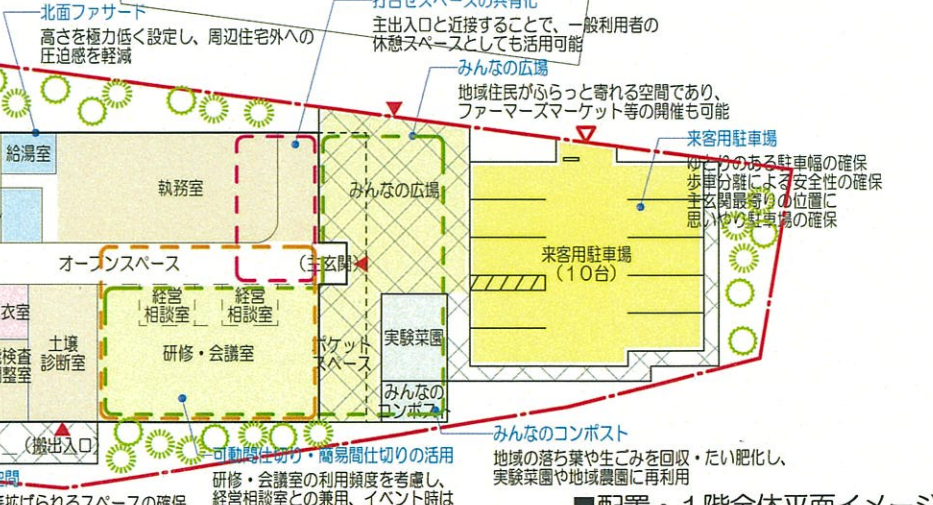
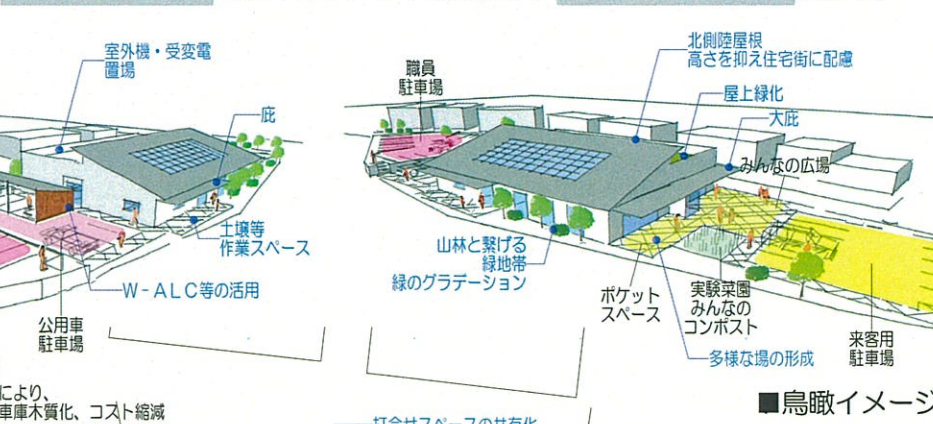
■構造体のグラデーション

小室が多いプライベートゾーンは柱や壁が「密」に配置され、開放的な空間とするパブリックゾーンは「たばねる」・「つなげる」構造体を活用し、偏心率に留意しつつ「疎」に配置されます。また、「疎」の空間は可動間仕切り等の設置により、空間を細分化・再編集が可能となり、多種多様な空間構成を可能とします。



■スペースの共有化

広めに計画するオープンスペースはイベント時に活動を拡張することもできる余白を持ちます。また、執務空間の打合せスペースを主玄関近くに配置することで、内部利用のみでなく、一般利用者の休憩スペースとしても活用可能です。スペースの共有化によりコンパクト化を図り、施設全体を有効活用します。



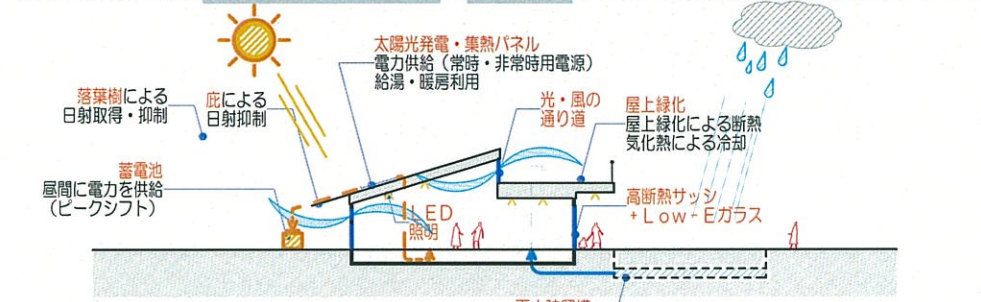
3 その他本施設の計画において特に重要と考える提案

■ローコストを目指す木造空間

大断面集成材などの高価な木材を極力使わず、木材の大量供給にも対応しやすい、細く短い地域流通製材を主体にした構造とします。これら流通材をつなげること・たばねることで、大規模木造を作ります。小径材を細かくつないだ調弦トラスや折板構造を組み合わせた加工とすることで長スパンを架け渡す屋根構造をつくる事ができます。柱は住宅でも使われる120mm角材を2丁合わせにする等たばねることで、長スパンの屋根や風による面外荷重にも耐えることができます。

■バランスの良い環境負荷低減

屋根や庇形状の検討による採光計画や風の通り道を検討したパッシブデザイン、外皮計算・一次エネルギー消費量計算を活用し、地域の気候条件を考慮した適切な断熱性能、LED照明等の高効率機器、断熱性能を考慮した温熱負荷計算、更新性を踏まえたアクティブデザインの適宜採用により環境負荷低減を目指します。



■地域資源の循環

「みんなのコンポスト」を設置することで、地域の落ち葉や生ごみを回収・たい肥化し、実験菜園や地域の農家に還元します。「雨水貯留槽」の設置により、トイレの洗浄水や散水利用します。地域林業と協力し、「薪ストーブ」や「木質ペレットストーブ」の導入も検討し、廃材(地域資源)の再利用、燃焼灰を肥料として活用、環境負荷を低減することも可能です。これら身近な設備により、地域資源の循環を促し、地域住民のコミュニティ形成や意識改善にも寄与します。

■対話型の設計、全体事業費のコントロール

各段階に応じたWSを開催します。多くの方々との対話を大切にし、ソフト・ハード両面を創造的に高めあい、施設利用状況等を加味・検証・精査し、施設規模の調整や先述したスペースの共有化によりコンパクト化を図り、コスト縮減を目指します。また、昨今の価格高騰を踏まえ、基本設計段階から精度を上げた概算算出を適宜実施し、コストコントロールを図ります。長寿命・メンテナンスフリー素材の採用、点検しやすい集約型の設備スペース等、更新性や維持管理を容易にし、ランニングコストも考慮した計画とします。

